



2025年3月12日

ブレーキの一部が動作していない状態で列車を運行した事象について

1. 概 況

本日 11 時 00 分頃、札幌運転所（札幌市手稲区曙 1 条 3 丁目 1 - 1）所属の車両において、ブレーキの一部が動作していない状態で列車を運行していたことが判明しました。

本日、あいの里公園 7 時 27 分発 札幌行き普通列車として運行を終えた車両が、札幌運転所到着後に仕業検査を実施中、ブレーキシリンダーコックの一部（3 両編成の全 12 か所中 1 か所）が閉じとなっていることを発見しました。

2. 車両編成

721 系 3 両編成

3. 原 因

現在調査中です。

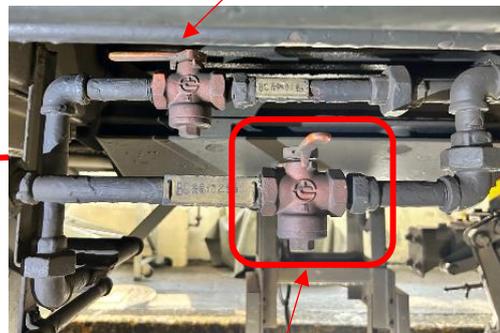
4. 対 策

原因判明次第、必要な対策を講じてまいります。

5. 付 記

- （1）前回検査は、3 月 7 日に札幌運転所で仕業検査を実施しています。
- （2）仕業検査とは、車両の使用状態に応じて、水・油・制輪子等の消耗品の補充取替ならびに台車、エンジン、ブレーキ装置の状態及び作用について外部から行なう検査で、144 時間以内の周期で施行する検査です。
- （3）3 月 7 日以降、当該車両は手稲～札幌～江別、札幌～苫小牧・北海道医療大学間で運行しており、2,560.2km を走行しています。
- （4）ブレーキシリンダーコックの一部を閉じとした場合、速度を制限する必要性があり、今回の場合一部区間で速度超過していたおそれがあります。
- （5）ブレーキ力の不足はありましたが、当社で定めるブレーキ距離内に停止できることを確認しているため安全上の問題はありませんでした。

6. ブレーキコック（同形式車両）



正常なブレーキシリンダーコック

閉じていたブレーキシリンダーコック